

取組名称：コメディカル養成のための教育用電子カルテシステムおよびデータベースの構築と実践

構成大学：国際医療福祉大学、北海道情報大学、藤田保健衛生大学 鈴鹿医療科学大学 川崎医療福祉大学
広島国際大学 東亜大学

医療の電子化は、国の最優先課題として今世紀の初めに取り組みが開始し、電子カルテが徐々に普及してきた。しかし、医療人を育てる大学では、病院のIT化に対応した教育が十分にはなされていない。本事業では、医療におけるIT教育の環境と教材を共有して、まだ確立されていない教育法を開発・評価し、連携校が等しくIT化に対応できる医療人を病院に排出する。

● 大学間連携の目的

- ・教育用としては高価な電子カルテシステムを仮想ネットワーク上で共有し、各連携校に於いてコメディカルの教育を行える環境を整える。
- ・模擬患者教材を多大学多職種で協力して開発し、教材データベースに蓄積・利用する
- ・電子カルテ授業を共通の基準で相互評価し改善する

● 連携取組の内容

- ・3大学に分散して電子カルテサーバを設置し、各大学に設置した電子カルテ端末を用いて授業を行う。授業の方法や評価については、電子カルテ授業検討会が中心になって検討する。
- ・電子カルテ教育のための教材を模擬患者作成委員会が中心になって、開発作成する。

● 期待される効果

- ・電子カルテ設備のない大学でも電子カルテ教育が可能になる。
- ・医療のIT化に対応して、正しく利用できる医療人を即戦力として送り出すことができる。
- ・コメディカル養成のみならず医師に対しても医療のIT教育法を確立できる。

